

近 ず、「公園の中に体育館を
建てる」という思想の下、全
横 体として市民が利用しやす
く心地よい空間の整備を「
25

都市公園法上の公園の種別。
内の住民の利用に供することが
が標準。近隣公園は主に50
で、標準面積は2ha。



網決定
るのか十勝
唯保に不安

洋連 確保してほしい。確保され
係な なければただの選挙対策と
ために 言われるだろう
限を 上土幌町で約50haを経営
源を する全十勝地区農民連盟の

体育館用地を都市緑地の
十勝川水系河川緑地に編入
するのは、公園に運動施設
を建てる場合、建ぺい率を
最大12%に制限する同法の
規制をクリアするのが狙
い。また、啓北公園の3分
の2は、公園としての用途
指定付きで国から無償貸与
施設用地などとして都市計
画に定め直す方法もある
が、そのためには国有地分
を買収しなければならない
くなるため、市としては公
園である都市緑地に編入す
ることで、引き続き用地を
無償で借り受けることを目
指している。(丹羽恭太)

十勝産小豆商品に フードバレーロゴ

菓子製造・販売の不二家
(東京)は、20日から関東
で販売中の十勝産小豆を使
った商品に「フードバレー
とかち」のロゴを使用して
いる。来年には関西での販
売も予定している。ロゴを
使用するのは大福(129
円)、塩豆腐(151円)、
おはぎつぶあん・こしあん
(各129円)の4品。関
東の約100店で約2万個
の販売を想定している。
筆頭株主の山崎製パン
が、同社の看板商品「ラン
チパック」の一部にロゴを
使用しており、不二家は山
崎の勧めでロゴを使用する
ことに。不二家広報CSR
部は「小豆で有名な十勝の

帯広市議会議会運営委員
会(富井司郎委員長)が26
日に開かれ、議会基本条例
の点検作業を行った。委員
が各会派で協議した条例の
評価、課題、今後の方向性
を基に、条文ごとに点検・
議論した。
条例の提案まで行なう着目
点を決めた議論が必要「現
在の常任委員会では政策提
言で精いっぱいの状態」議
会に求められている部分で
目指すステップ」などの意
見が出て、検討項目とした。
同条例は2010年の施
行から5年になることか



ロゴを使用することで客の
目を引ければとしている。
「フードバレーとかち推
進協議会」(会長・米沢則
寿帯広市長)では昨年8月
から、ロゴの活用を通じて

支援 具体性欠く

西原正行委員長は、TPP
に対する政府の関連政策大
綱をこう評価する。
不明な部分も多い。
原資となる実質関税(マ
クアップ)が削減された
小麦の補助制度も、大綱で
は「着実に実施」とされた
が、350億円近く減る財
源確保に不透明さも残る。

ラウンド対策(1994
2001年度)では、政府
は約6兆円をつぎ込んだ。
バブル崩壊後の景気対策で
公共事業が膨れ上がった
時期だったとはいえず、土
木工事や施設整備に多くが

の大会では、「TPPを乗
り越え」夢を実現できる十
勝」を創り出す特別決議
が採択された。市内の畑作
農家の前多会長(35)は「T
PPでは暗くなりがちだ
が、何とか前を向こうと何
度も書き直した」と話す。
22日に森山裕農林水産大臣
との意見交換にも参加した
前多会長は、大筋合意から
わずか1カ月半で出された

との関係を重視した。
消費、実需側からもTP
Pで安定供給が脅かされる
ことに不安を抱き、行動に
移した団体もある。全国和
菓子協会(東京)は26日、
幕別町で大規模な会員和菓
子店と農家との交流会を初
めて開いた。同協会の関根
義彦副会長は「TPP大筋
合意の影響が心配されてい
るが、今大切なことは農産

◆畑作へ対策
継続性求める
大綱に盛り込まれた十勝

源確保に不透明さも残る。

わが国は、大筋合意から
わずか1カ月半で出された

の大会では、「TPPを乗
り越え」夢を実現できる十
勝」を創り出す特別決議
が採択された。市内の畑作
農家の前多会長(35)は「T
PPでは暗くなりがちだ
が、何とか前を向こうと何
度も書き直した」と話す。
22日に森山裕農林水産大臣
との意見交換にも参加した
前多会長は、大筋合意から
わずか1カ月半で出された

住宅リフォーム承ります 外壁 屋根 改修・塗り替え
スペシャルバイキング 11:30 駐車場